



みんなのひとみ輝き笑顔あふれる明小学校

第1回学校運営協議会を開催しました

5月18日(月)に令和8年度第1回学校運営協議会を開催しました。

学校運営協議会は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。

令和8年度は、明地区の中から小林小代子さん(明地区社会教育推進協議会等)、山田孝浩さん(芸濃町文化協会会長)、松田克己さん(教育行政経験者)、宮崎美智子さん(元PTA会長)、伴 彰香さん(現PTA副会長)の5名にお願いしています。

今回は、授業を参観した後、子どもたちの様子や今後の明小学校について、意見交流を行いました。出していただいたご意見をもとに、今後の学校運営に生かしていきたいと思えます。



○児童会の役員から日頃の感謝の気持ちと明小学校について思いを伝えました。



○授業の様子も見ていただきました。

《出していただいたご意見》

- ・ 多人数では、先生が目が行き届かないような場面でも、明小学校では、子どもを見てもらっていることが分かった。
- ・ 「わたり授業」では、自分たちで授業を進めていくという意味で良い方向であり、前向きに捉えている。見ていて安心した。
- ・ 急に中学校で多人数になるという不安がないように、小学校の段階で、芸濃小学校と交流する機会をもってほしい。
- ・ 先生が、子どもたち一人一人が何を考えているのか分かってもらっているようだ。
- ・ 中学校へ行ってからのフォローを、フィードバックしてもらえるとありがたい。
- ・ 明小学校は、掲示物や学習環境が整えられ、秩序だてられている。これが、当たり前ではなく、そうになっている明小学校が素晴らしいということ子どもたちには実感してもらいたい。

いきいき支援の会 「米作りチーム」にお世話になりました。

5月7日(木)に、いきいき支援の会 米作りチームの方にご協力いただき、校舎裏につくっていただいた田んぼを耕し、水入れを行い、田植えの準備をしていただきました。

本年度は、2学期に稲の開花や実のなる様子を子どもたちが観察できるように、田植えの時期を1か月ずらす予定です。また、粃から苗を育てていくことも体験してきたいと思っています。

学校敷地内に田があることで、子どもたちにとって、お米が身近に感じられ、観察等の体験活動を通して、普段お米を育てていただいている方への感謝の心を育てていけたらと考えております。

田おこしの様子



水をはった田の様子



進んであいさつができる子どもに

本年度がスタートし、1か月ほど経ちました。始業式では、「自分からあいさつができるようになりましょう。」「自分から声をかけるのは勇気のいることですが、そうやって自分から声をかけるというのは、相手へのおもいやりにつながります。」と子どもたちに話をしました。この期間振り返り、朝、私に会った時には、気持ちよく、私の目を見て、あいさつをしてくれます。子どもたちの学習が進んでくると外部の方が授業を見に来ていただいたり、学校の修繕等で来ていただいたりします。その時に、「おはようございます!」「こんにちは!」と元気にあいさつしてくれた子どもがいました。あいさつしてもらったお客さんは、「素敵なお客さんですね。こちらもうれしくなりました。」とおっしゃっていました。

これから、たくさんの方に子どもたちは出会う機会があります。「明小学校にまた来たいな」と、思ってもらえるようなあいさつができる子どもたちになってくれたらと思います。

保護者の方、地域の皆さまも、ぜひ、子どもたちに声をかけていただけたらと思います。

